



## Honda All Type R World Meeting 2026 走行前フリーフィング資料 (フリー走行)

Honda All Type R Meeting 2026 では、ご参加いただく皆さまが楽しくサーキット走行をお楽しみいただくため、以下のルール遵守をお願いしております。

本イベント開催にあたっては、安全性の確保に十分な留意をもって進めております。サーキット内には立入を制限されている場所、危険な箇所がございます。万一、生命・身体・財産に損害を与える事故が生じた場合においても、イベントの開催、運営、実施にたずさわる者及び施設提供者は、それについての一切の責任を負いません。ご参加のみなさまには、イベントに楽しく安全にご参加いただくため、係員の指示に従い、施設利用の諸規則を遵守して下さるようお願い申し上げます。

また、走行イベント開催にあたっては安全性の確保に十分な留意をもって進めておりますが、本来、モータースポーツ・サーキット走行には危険要因が含まれているものです。したがってモータースポーツイベントに関与する人はすべてこの危険要因をご承知の上でご参加ください。

### 「体験走行参加者ガイド」から変更がございます。 6:45～パドック入場可能に変更

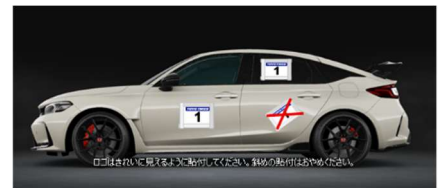
#### 1) 走行時の装備品について

走行の際は、必ずヘルメット、グローブ（指が完全に覆われているもので、軍手は不可です。）を着装してください。また、服装は動きやすい長袖、長ズボン、靴はドライビングシューズもしくは運転しやすいスニーカー等で参加をお願いします。過度な装飾品、ネックレス、指輪等のアクセサリーは、外してください。  
※慣熟走行時、同乗者のヘルメット、グローブは不要です。

服装・ヘルメット等 装備品について	スポーツ走行(ロードコース)		パレードラン 約30km/h
	慣熟走行 (60km/h以下)	速度制限無し	
同乗者 (同伴者の同乗)	○	×	○
ヘルメット	必要 ジェットヘルメット可 フルフェイスタイプ推奨/4輪用ヘルメット推奨 ※2輪用半キャップ不可		不要
グローブ	必要 指先のでいていないもの ※軍手不可		不要
シューズ	運転しやすいスニーカー等 ドライビングシューズ推奨 ※サンダル、ヒールの高い靴等は不可		制限無し 運転しやすい靴
服装	動きやすい長袖、長ズボン、足首を隠すソックス レーシングスーツ推奨 ※極力、肌の露出のないこと		制限無し

#### 2) 車両の検査：以下を確認し、準備の後、車両検査を受けて下さい。 違法改造車・保安基準に適合しない車両の参加はお断りいたします。

- ゼッケンは車両の左右の見やすい位置に貼付けて下さい。(フロントドアを推奨)
- トランスポンダの方向に注意し取り付けして下さい。(推奨：トランスポンダをタオルでまきドアポケットに押し込むように装着)
- タイヤ(空気圧、ホイールナットの増締め)、オイル(量、ドレンボルト、オイルフィルターキャップ、レベルゲージ)、ブレーキ、冷却水等を点検してください。
- 牽引フックを装着してください。車載品で OK (前後どちらかで可) コースアウトしグラベルストップした場合、牽引フックを使用し車両レスキューを行います。レスキューに時間がかかるかと貴重な走行時間が短縮され、みなさんの迷惑となります。
- クラッシュ時の受傷防止のため、室内の備品は撤去し、窓は完全に閉めて走行してください。熱中症防止の観点から、窓を開ける場合は各窓 5cm 以内とします。
- オープンモデルでロールケージ非装着車はルーフを開けて走行してください。サンルーフ付き車両はサンルーフを全閉で走行してください。これら車両へはフルフェイスヘルメットの装着を推奨します。※オープンモデルはロールケージの装着を強く推奨しております。
- 車両検査の準備が整った車両は、ヘルメットをルーフに乗せて係員の検査を受けてください。ルーフ上のヘルメットが準備完了の合図になります。(降雨時に屋外で車検を受ける車両は巡回する係員にお声がけの上、検査を受けてください。)
- お荷物は No.21/30/40 ビットを置き場としてご利用いただけます。主催者は荷物の管理をいたしません。盗難等の責任は負いかねますことをご承知下さい。



### 3) ピットロードへの進入

- ① ピットロードへの進入タイミングはスタッフの指示に従ってください。
 

〔中・上級クラス 3 枠・4 枠〕	ピット内に駐車している車両は、各自のピット内から直接ピットロードへ進入して下さい。
〔入門クラス 2 枠〕	パドックに駐車している方は、スタッフの指示の元、1 ゲートよりピットロードへ進入して下さい。
〔入門クラス 1 枠〕	体験走行 (PIT ロードで待機) からの継続走行となります。
- ② ピットロードへ進入の際は、左からくる車両に充分に注意して下さい。
- ③ ピットロードの制限速度は 60km/h です。※横断者やピットイン、ピットアウト車両に充分に注意して下さい。
- ④ 4 枠のみ走行者は前走 3 枠のフリー走行チェッカーフラッグ提示後、ピットロードへの進入が可能です。ファーストピットレーンを走行し、係員の指示に従いピットレーン出口で待機して下さい。
- ⑤ ピットロード上で走行終了(チェッカーフラッグ)となった車両は、スタッフの指示でご自身の駐車エリアにお戻りください。バックで自身の PIT に駐車するか、2 ゲートからパドック経由で指定の駐車エリアへ進行します。
- ⑥ パドック内の制限速度は 10km/h 以下です。歩行者や他の車両に充分に注意して下さい。

### 4) 慣熟走行: 1 周 最高速度 60 km/h

- ① 〔入門クラス 2 枠 / 中・上級クラス 3 枠・4 枠〕フリー走行に先立ち慣熟走行を行います。
 

先導車について慣熟走行(OUT/IN コースインしてそのままピットイン)をおこないます。

各走行枠グループに対して個別の先導車が対応します。

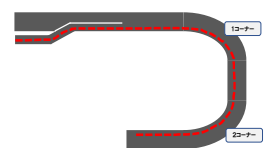
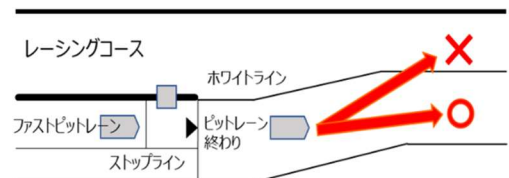
スタッフの指示に従って PIT ロードに走行枠グループごとに整列して下さい。

※〔入門クラス 1 枠〕は体験走行で慣熟走行済みのため、フリー走行での慣熟走行は行いません。
- ② 慣熟走行中のみ同伴者の同乗が可能です。慣熟走行後、同乗者は車内にとまりスタッフの指示の後、後続車に注意して下車して下さい。
- ③ 走行中の運転者の手持ちによる撮影は禁止いたします。また、車外へカメラを出すこと(器具の使用、同乗者が手持ちで車外へカメラを出す行為等)も禁止いたします。室内のカメラは確実に固定し、車検時にスタッフの確認を受けてください。
- ④ 走行中は、追い抜き、追い越されは禁止です。故意に前走車との距離を空けたり、急加速、急減速、急ハンドルなどの操作は禁止いたします。車間距離は約 25m (車両 5 台分) 程度を目安に走行して下さい。前車についていけない場合は無理をせずご自身のペースで走行して下さい。
- ⑤ 走行中、何らかのトラブルで走行の継続が難しくなった場合は、ハザードランプを点灯させ安全なコース脇に停車させてください。レスキュー車が向かいます。後続車はその車両を抜き去り、隊列に合流して下さい。
- ⑥ 停車後、再走行が可能となった場合には、隊列の最後尾に合流して下さい。
- ⑦ 慣熟走行では、車両の状態、コースの看板、ポスト位置、LED シグナル位置、ピット入口等を確認して下さい。(慣熟走行中、コース上の電子フラッグはグリーンを点灯します。)
- ⑧ 慣熟走行中でも電子フラッグは黄色に点灯(イエローフラッグ表示)する場合があります。イエローフラッグ表示が出た場合は、「トラック脇、あるいはトラック上の一部に危険箇所がある」ことを意味します。走行は十分に注意をし、当該箇所ではスピードを落とし走行して下さい。
- ⑨ 慣熟走行後、〔入門クラス 2 枠〕・〔中・上級クラス 3 枠〕の走行者はそのままフリー走行となります。慣熟走行終了からそのままピットロードに進行し、1 列整列で停車し、同乗者が下車した後、フリー走行が開始されます。
- ⑩ 〔中・上級クラス 4 枠〕のみ走行の方は慣熟走行後、PIT 進入路から車検場方向に右折し、パドック経由で自身の PIT にお戻りください。



### 5) フリー走行

- ① ピット出口シグナルがグリーンの際にコースインが可能です。赤の場合はピット出口に引かれたラインで待機して下さい。
- ② フリー走行 1 周目はタイヤが温まっていません。グリップが上がるまで十分に注意して走行して下さい。
- ③ 全てのコースイン時のホワイトラインカットは厳禁です。ストレートを高速走行してくる車両との交錯の危険があります。
- ④ ピットアウト直後の急加速はやめましょう。(特にリア駆動車) 過去にコントロールを失い、ハーフspin状態で走行路に飛び出し、重大な事故が発生しています。
- ⑤ コースイン… 2 コーナー立ち上がりまでコースの右端を走行し (※インベタ) 後方を確認してレコードラインに合流して下さい。



- ⑥ ピットイン…NIPPO ヘアピン立ち上がりより PIT ロード入り口までコースの右端をキープ走行してください。その際、右側のウインカーを点灯させ、他車に対し明確なピットインの意思表示を行ってください。
- ⑦ ピットイン時の急激な減速は危険です。セカンドアンダーブリッジ手前から徐々に減速し、ピットインとなります。
- ⑧ コースイン時同様、ホワイトラインカット、急激な進路変更は厳禁です。
- ⑨ 走行時間中ピットインし作業を行う場合は、自身のピット前で作業を行ってください。
- ⑩ 赤旗が提示された場合は徐々に減速し、車両のクールダウンをしながら PIT インしてください。車両はコースの右側を走行してください。赤旗中の追い抜きは禁止です。車両は自身の PIT 前に停止してください。再開は放送にてアナウンスいたします。アナウンス後、ファストピットレーンへの進入を許可いたします。PIT 出口のシグナルグリーンで走行を開始します。(赤旗発生に起因する箇所、レスキュー箇所はできるだけ離れて走行してください)
- ⑪ 赤旗の原因を作った車両は、以降の走行をお断りする場合がございます。赤旗は参加する皆さまに走行時間を短くしてしまうなど多大な迷惑をかけることとなります。赤旗原因を作らぬよう最大の注意を持って走行をお願いいたします。
- ⑫ 赤旗中断による走行時間の延長は原則おこないません。

## 6) 走行終了 チェッカー

- ① 走行終了予定時間の約 5 分前にチェッカーフラッグを提示いたします。チェッカー後、ストレート上での急減速はしないで下さい。追突事故の原因となります。後方に注意し徐々に減速をし、ピットインして下さい。
- ② ブレーキを必要としない速度、エンジンに負荷をかけない回転で、クールダウン走行を推奨します。
- ③ チェッカー後のピットイン車両は、車検場を経由してパドックへ退出し、ご自身の駐車スペースにお戻りください。
- ④ パドック内の他の車両、歩行者に十分な注意をお願いいたします。パドック内の制限速度は 10 km/h 以下です。
- ⑤ フリー走行チェッカー後の自車の駐車位置への移動ルート

[入門クラス 1 枠・2 枠] チェッカー後は車検場を経由してパドックへ進行します。第 1 パドックの指定の駐車枠に駐車し、第 2 パドックへの移動準備が整った方から第 2 パドックの指定駐車位置へ移動をお願いいたします。

第 1 パドックは 11:30 からアフタヌーンエントリーの方が駐車スペースとして使用されます。11:15 までに第 2 パドックへの移動を完了してください。

[中・上級クラス 3 枠・4 枠] チェッカー後は車検場を経由してパドックへ進行します。パドックから各自のピットへお戻りください。午後のイベントへは PIT ロード側に車両を向け駐車をお願いいたします。

## 7) ピット・パドックのマナー・ルールについて

- ① ピット、パドックにおいての荷物の管理は、各自で行なってください。盗難に充分注意！
- ② ピットレーン、サインボードエリア (プラットホーム) の立入は、走行時間帯のみ入場可能です。また、16 歳未満の方は、ピットレーン、サインボードエリアへの入場は禁止です。グランドスタンド等で見学をお願いします。
- ③ 喫煙 (電子たばこ) は指定された場所で行ってください。
- ④ ピットロード内、サインボードエリア (プラットホーム) でのパラソルの使用は禁止です。

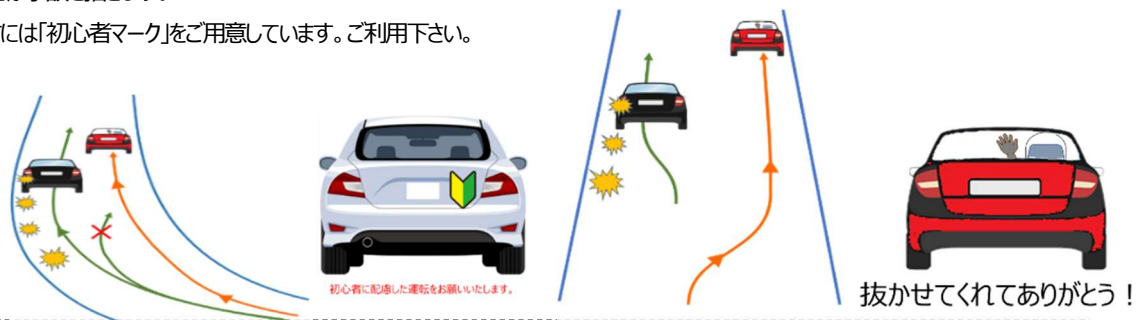
## 8) 走行時の注意事項

走行会はレースではありません！他車との間隔を十分に確保し、接触事故の無いよう最大の注意と、他車への配慮をお願いします。接触事故はスピード差とお互いの予測不能な車両の動き、ライン取りにより起こります。お互いのコミュニケーション不足、利己的な運動が接触事故の元となります。以下の事を心がけて安全な走行をお願いいたします。

### ① 抜かれる側の心構え

お先にどうぞの意思表示：後続車に進路を譲る場合はウインカーを使用し意思表示をしましょう。車両を寄せる方向にウインカーを出し、オーバーテイクしていく車両に十分なスペースを提供しましょう。急激なライン変更や過度な減速は必要ありません。逆に事故の原因となる可能性があります。想定を超えた動きが事故を招きます。

※初心者の方には「初心者マーク」をご用意しています。ご利用下さい。



## ② 抜く側の心構え

オーバーテイクをしようとしているあなたの方が上級者または性能の勝る車に乗っています。

オーバーテイクは抜く側にその責任の多くがあると云えます。前走車の意思を読み取ってからオーバーテイクにかかりましょう。

プロドライバーのバトルはお互いの意思疎通の上で成り立っています。

- ・ウィンカーや明らかな走行スペースの提供など「オーバーテイクして下さい」の意思確認はできていますか？
- ・意思表示があったとしても前走車はどんな動きをするかわかりません。最大限のリスク回避を予測しましょう。

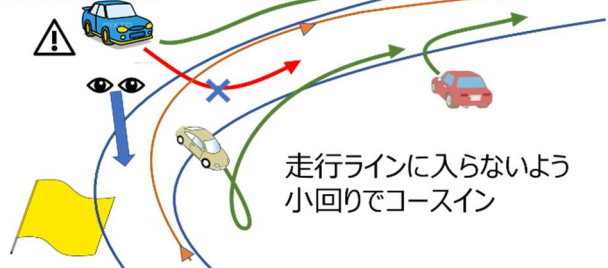
## ③ パッシング・ホーンは原則として使用しないで下さい。

- ④ 貴方より速い車がいることを常に意識しましょう。走行中は、常に前後左右の状況チェックをしましょう。前方より後方、左右に注意を向ける事が必要です。
- ⑤ ストレート上での進路変更はお互いの原因となります。後方の車両に十分注意しましょう。危険な進路変更を禁止します。また、メインストレートでの追い越しは、コースインして行く車両に注意して行なってください。
- ⑥ 車両によってコーナリング速度は異なります。「他人が曲がれたから自分も曲がれる」わけではありません。無理なコーナリングは重大事故を引き起こします。また、グラベル地帯（バンカー）では、コースアウトの角度により横転も発生します。
- ⑦ 走行中の事故は、原則として自己責任です。自身の損害、ケガ等の治療費用も自己負担です。車両同士の事故解決は当事者同士で行ってください。主催者、サーキットは関与いたしません。クラッシュ等で施設に損害を与えた場合は、復元にかかる費用をご負担頂きます。

## 9) コースアウト・クラッシュ・車両トラブル時の対応について

- ① 走行中、スピンやコースアウトが発生した場合、可能な範囲で再スタートを試みてください。
- ② 再スタート不可能な場合は、エンジンを停止し、鍵はつけた状態で、すぐに車から離れ、一番近いコース外(ガードレール裏もしくはタイヤバリア裏、サービスロード)に待避してください。コース外に出るまではヘルメットの装着をお願いします。
- ③ 退避後は迎えの車両が向かいます。コース横断やコース脇などでの車両の整備は、一切禁止です。 スマートキー車両はキーをグローブボックス内等、車両に固定して下さい。
- ④ クラッシュした場合は、自身の体が負傷していないかを確認ください。その後、車両が走行出来る状態であれば、車両を安全な位置(グリーン上やエスケープゾーン、サービスロード等コース上から離れた位置)へ移動してください。
- ⑤ 再スタートし、ピットインしていただくことは可能ですが、クラッシュ後は車両からの液体漏れの可能性もあります。車両のダメージ状況が分からない場合は無理にピットインしないようにしましょう。
- ⑥ 体が負傷して動けない場合は、救急車もしくはレスキュー車両にて救助に向かいます。
- ⑦ 走行中に車両の異常を感じたら無理に走行を続けず、速やかにコース外（グリーン上やエスケープゾーン、サービスロード等）に車両を停止させてください。トラブル状況が分からない場合は無理にピットインしないようにしましょう。万一、液体漏れが発生した場合、車両回収やコース清掃などの時間も走行時間に含まれるため、他の参加者にも影響が出ます。スロー走行でピットに戻る際はコース右側を走行してください。
- ⑧ 西ショートカット、東ショートカットの走行は禁止です。トラブル時の緊急避難場所としての使用は認めず。
- ⑨ グラベルから再コースインした場合はグラベルをまき散らさないようコース右側をスロー走行して一度ピットに戻ってください。PIT でしっかりとグラベルを落としてから再コースインしてください。
- ⑩ クラッシュ等にて施設破損による補修費用、オイル漏れ等によるコース清掃料など復元に要する費用は請求させていただきます。

必ず目視確認



※スマートフォンの緊急通報機能（SOS機能）はOFFにしておきましょう。

- ・走路から離脱した後、再スタートするときは、周りの状況をよく確認してから走路に復帰すること。
- ・走行ラインを遮らない復帰ルートを心がけること。
- ・一般道と同じです。

交通量の多い道いきなり飛び出しはしません。

フリー走行 タイムリザルト 情報ページ

<https://apps.mobilityland.co.jp/info/download/ivTIO8>



## コース上で使用されるフラッグ(ライトパネル)について



### ●イエローフラッグ (振動表示)

速度を落とし、追い越しをしないこと。進路変更する準備をせよ。

1本 振動 …トラック脇、あるいはトラック上の一部に危険箇所がある。

2本 振動 …トラックが全面的または部分的に塞がれているような重大な危険箇所あり。



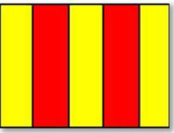
黄旗(イエローフラッグ Yellow Flag)は競技車両がコース上に止まったり、グラベルにはまって動けなくなったりすると、現場の手前のオブザベーションポストで振られ、後続の車両に対して危険を知らせます。黄旗の提示は振動(旗を振る)で行われます。徐行ではありません。



### ●グリーンフラッグ

黄旗区間の解除に使用します。グリーンフラッグの先は通常走行に戻ります。

※走行開始の1LAP目で表示される場合もあります。表示位置を確認して走行して下さい。



### ●赤縦縞 黄色フラッグ

赤の縦縞のある黄旗(オイルフラッグ)は提示された先のコース上に、オイルがあり路面が滑りやすくなっていることを知らせます。雨が降り出して路面が滑りやすくなったときや、コース上に砂利や落下物などがある場合にも提示されます。数周で撤去される場合があります。



### ●赤旗 (振動表示)

赤旗(レッドフラッグ)はセッションの中断を意味します。大雨などの急な天候の変更や、大きな事故が発生したときなど、走行を継続することが危険であったり、困難と判断されたとき、全てのオブザベーションポストで振られ、セッションの中断が伝えられます。安全な速度で徐行し、ピットインをして下さい。



### ●白旗 (振動表示)

前方に低速車両が走行中です。(救急車、トラブル車両等) 速度差による追突に注意して下さい。

追い越し可能です。



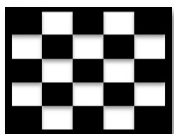
### ●オレンジディスク (ゼッケンボードと共に表示/または対象車両に指しをします)

オレンジ色の円形(直径 40cm)のある黒旗がパーツが破損したり、オイルが漏れているなど機械的な欠陥がある車両に対してゼッケンボードと共に不動表示されます。速やかに PIT インし、係員の指示に従って下さい。



### ●黒旗 (ゼッケンボードと共に表示/または対象車両に指しをします)

走行中の運転者に PIT インを指示する場合に使用します。



### ●チェッカーフラッグ (振動表示)

走行終了を意味します。速度を落とし、クールダウンLAPの後、PIT インして下さい。

急減速はしてはいけません。後続車の衝突事故の原因となります。